

金融経済ナビ まなぼう！金融経済 債券の講座 債券と利回り 自己診断シート/確認テスト 〈解説・指導編〉

【自己診断シート】

利回りの計算を伴う学習に入る前に、主要な語句を確認しておきます。

Aの解説：
資産運用の手段として、債券が売買されていることを確認します。

Bの解説：
利率に比べると難度が高いため、設問でも「聞いたことがあるか」という問いにしています。

Cの解説：
広義では「利子率、利率、利回り、割引率」などを含めて指す金利について、コンテンツでは“世の中の金利”という意味で使います。

設問2の解答：
複雑な利回りの計算の学習の前に、利率の考え方を確認しておきます。計算は「 $3 \div 100 = 0.03$ 」よって3%です。

【確認テスト】

[解答] 1 : B 2 : C 3 : B

[解説]

1 : 債券は株式と同じく、市場では価格が変動し、時価で売買されています。債券の値段は、その時々の中の中の金利の影響を受けて、日々、変わります。ですので、買ったときより安い値段で売ることになる恐れがあります。

2 : 債券のように売買されて値段が変動するものの場合、変動の影響を加味して収益性を計り、その上で預貯金の収益性を示す利率と比較しなければいけません。債券の収益性を計るモノサシ「利回り」は、利子による収入と償還差損益などから計算します。

3 : 債券の価格と金利は逆の動きをします。つまり、世の中の金利が上がれば債券価格は下がり、世の中の金利が下がれば債券価格は上がります。